

伊賀

市議会だより

2015.8.1

No.42



あけぼの学園高等学校

主な掲載内容	常任委員会	2	☆初インタビュー あけぼの学園高等学校へ	10
	主な議案と審議結果	3	26年度政務活動費の報告	12
	請願、賛否一覧	4	議会だよりアンケート結果について	13
	13人が一般質問	5	10月開催の議会報告会・次回の議会日程	14

☆本会議の情報発信の方法についてご意見をお寄せください。詳細は裏表紙をごらんください。

総務常任委員会

6 / 16 開催
議案1件

『伊賀市地区市民センター条例及び伊賀市介護予防センターの設置及び管理に関する条例の一部改正』

高尾地区市民センター及び高尾介護予防センターについて、高尾住民自治協議会からその建物を介護予防の拠点として整備・活用するため、高尾区所有の隣接する「岳の里会館」の寄附を受け、岳の里会館に地区市民センター及び介護予防センターを移転するものです。

Q 移転後のそれぞれの施設の所有、管理、運営は。

A 現在の岳の里会館は、地区市民センター及び介護予防センターとして市が所有、管理、運営を行う。また、現在の地区市民センター及び介護予防センターは、高尾区が介護予防拠点施設として所有、管理し、高尾住民自治協議会や地区の各種団体などで構成される運営協議会により運営されることとなる。

Q 現在の岳の里会館を地区市民センター及び介護予防センターとして使用するにあたり、予定している改修工事の内容は。

A 事務所として使用するための床の改修工事、防災無線や電話回線などの移設工事を予定している。

Q 耐久性は問題ないか。

A 平成17年に建築された建物であり、耐震性もあり問題はないと考えている。

委員会では全員賛成で可決すべきものと決しました

教育民生常任委員会

6 / 16 開催
議案2件
請願1件

伊賀市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正

医療の側面から子育て世代を支え、安心して子どもを生み育てることができる環境整備を充実させるため、中学校3年生までの通院の医療費を助成対象とするものです。

なお、この条例は、平成27年9月1日から施行することとしています。

※現在の制度では、「子ども」の医療費助成については、小学校6年生までの通院および入院と中学校3年生までの入院が対象となっています。

Q 制度の周知方法は。

A 市広報への掲載とともに、対象者へは6月末に案内を送付する予定。

Q 対象となる人数および今後の推移は。

A 対象者は約2300人と見込んでおり、今後は少しずつ減少していくと想定している。

Q 助成対象拡大に伴う財源は。

A 今回は、市単独事業として一般財源を考えている。今後は県補助事業となるよう県へ要望していきたい。

委員会では全員賛成で可決すべきものと決しました

産業建設常任委員会

6 / 18 開催
議案3件

**伊賀市消防本部庁舎新築工事
工事請負契約の締結**

伊賀市消防本部庁舎新築工事の建築主体工事、機械設備工事及び電気設備工事について、入札が行われ契約の相手方が決定しました。

Q 新消防庁舎における指令センター室の設備は名張市との消防広域化に対応できるのか。

A 広域化を見据えたものとなっている。

Q 現在の指令設備を移設することだが、その工事は今回の契約に含まれているのか。

A 電気設備工事に配管工事は含まれているが、移設については、現在の指令設備の整備工事が完了した後、来年度予算で新たに計画している。

委員会では全員賛成で可決すべきものと決しました

予算常任委員会

6 / 15 開催
議案1件

平成27年度一般会計補正予算（第2号）

賛成討論

医療費助成経費について、子ども医療扶助の助成対象が拡大したということはすばらしい政策であり、子育て支援にもつながるものである。

しかしながら、窓口で一旦自己負担を支払ってもらい、後に償還するという方法は行政目線である。窓口での支払いを不要にし、患者に負担をかけないような、よりよいシステムとなるよう一考されたい。

委員会では全員賛成で可決すべきものと決しました

子育て支援さらに充実 平成27年度一般会計補正予算 2億4,466万円

その主な事業は次のとおりです。

●福祉医療費(子ども)の助成対象の拡大

平成27年9月1日から

「子ども」の医療費助成について、中学校3年生の通院まで助成対象を拡大します。

いままで	通院		入院	→	これから	
	中学生	小学生			中学生	小学生
	×	○			○(拡大)	○

システム改修委託料 373万円
 助成範囲拡大に伴う医療費助成経費 1,980万円

●畜産施設等整備事業

畜産農家(生産者)や行政および地域の関係事業者が連携し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための畜産クラスター計画に位置づけられた畜産施設等整備事業費補助金
 1億3,300万円

●第3子以降の保育料無料化

平成27年9月1日から

4月1日現在、18歳未満の兄弟がいる第3子以降の保育料を無料化します。
 (市単独事業)

該当する人の保育料減額分等
 1億2,059万円



●空き家等対策計画策定業務

重点対象地区の設定、優先順位の明示および調査に関する事項等を盛り込んだ空き家等対策計画策定業務委託料

300万円



6月定例会

第3回定例会が6月1日から24日まで開催され、平成27年度一般会計補正予算をはじめ、条例の改正や議員発議1件を含む合計11件の議案と請願1件を審議し、議案11件を可決(承認・同意)し、請願1件を採択としました。

― 審議内容と審議結果(主なもの) ―

市長提出議案

平成27年度予算

◆一般会計補正予算(第2号)(2・3ページ参照)
全員賛成で可決

条例

- ◆伊賀市地区市民センター条例及び伊賀市介護予防センターの設置及び管理に関する条例の一部改正(2ページ参照) **全員賛成で可決**
- ◆伊賀市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正(2・3ページ参照) **全員賛成で可決**

その他

- ◆崇広中学校屋内運動場耐震補強工事
 工事請負契約の締結
- ◆建築主体工事【契約金額】1億7604万円
 【契約の相手方】市川建設株式会社
 (伊賀市阿保1214番地の14)
全員賛成で可決
- ◆伊賀市消防本部庁舎新築工事
 工事請負契約の締結 (2ページ参照)

◆建築主体工事【契約金額】9億8280万円
 【契約の相手方】西村・山一特定建設工事共同企業体
 西村建設株式会社三重支店
 (龜山市東町1丁目7の9)

◆機械設備工事

【契約金額】2億2604万4000円

◆【契約の相手方】三重シンリョー設備株式会社
 (津市雲出本郷町1805の25)

◆電気設備工事

【契約金額】1億8928万8000円

◆【契約の相手方】中央電設株式会社三重営業所
 (四日市市海山道町1丁目122番地の1)
全員賛成で可決

議員提出議案

◆伊賀市議会会議規則の一部改正

①男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、全国の市と特別区の議会が規則を策定する際に参考にする全国市議会議長会の「標準市議会会議規則」が改正されたことに伴い、当市議会においても、女性議員が出産を理由に欠席できるように新たな規定を加えました。

②議会内の情報共有を推進するために構築した「市議会会議システム」の運用開始に伴い、本会議及び委員会において「情報端末機器」を使用できるように改正しました。

全員賛成で可決

※市議会会議システム・市議会の共有情報をネットワーク上で一元的に管理するためのアプリケーションソフトウェア及びサーバー全体のこと
 ※情報端末機器・会議用システムを活用するためのタブレット端末等のこと



請願

◎件名 (仮称)上野北部地区小学校(新居小・長田小)の校区再編に関する事について

◎趣旨 上野北部地区小学校校区再編は、当初は、新居小学校、長田小学校、三田小学校及び丸柱小学校の諏訪地区児童が統合するという計画であったが、市の方針が変更され、三田小学校と諏訪地区児童、新居小学校と長田小学校という2校分割案での校区再編により、平成27年4月に「三訪小学校」が新しく開校しました。再編計画において残された統合校は新居小学校と長田小学校のみです。現在の計画においては、平成32年度の開校予定とされていますが、子ども達によりよい教育環境のもとで授業等を受けさせることが、保護者はもとより地域住民の切なる願いです。市として最重要課題として積極的に取り組み、現計画より一日も早く統合校が開校されることを求めます。

採択

◎請願者 新居地区住民自治協議会
会長 山田正美 外1名
◎紹介議員 上田宗久、中井洸一、中谷一彦
◎教育民生常任委員会での採択とすべきものと決し、本会議で採択となりました。

賛成の討論

●学校の活性化、教育指導の充実、教育水準の維持向上を図るためには一定の学校規模が必要であり、複式学級編成の解消が校区再編の基本的な考え方であるといわれていることから、計画より一日も早い統合校の開校をお願いする。

各議員の賛否一覧

○印は賛成、×印は反対。欠は欠席。中岡久徳議員は議長のため採決に入っていません。

種別	件名	賛成 反対	議決 結果	赤堀	市川	嶋岡	福岡	福田	森川	生中	上田	近森	中井	中谷	百上	田山	森	北出	空森	前田	岩田	安本	森岡	
				久美	岳人	壯吉	覚	正康	香織	徹	正嗣	宗久	正利	洸一	一彦	真奈	宏弥	正敏	忠良	栄幸	孝也	佐俊	美栄子	昭二
第3回定例会 (6/1~6/24)																								
請願	(仮称)上野北部地区小学校(新居小・長田小)の校区再編に関する事について	21 : 0	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出	専決処分の承認について	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決処分の承認について	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	伊賀市議会会議規則の一部改正について	20 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	
	平成27年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	伊賀市地区市民センター条例及び伊賀市介護予防センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	伊賀市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負契約の締結について(崇広中学校屋内運動場耐震補強工事(建築主体工事))	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負契約の締結について(伊賀市消防本部庁舎新築工事(建築主体工事))	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負契約の締結について(伊賀市消防本部庁舎新築工事(機械設備工事))	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について(伊賀市消防本部庁舎新築工事(電気設備工事))	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
監査委員の選任について(大田元氏)	21 : 0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出	発議第7号 伊賀市議会会議規則の一部改正について全員賛成で可決																						

議員永年勤続表彰授与

6月17日に開催された第91回全国市議会議長会定期総会において、3人が永年勤続表彰を授与されました。これは、全国市議会議長会表彰規定により表彰されたものです。

また、4月15日に開催された第98回東海市議会議長会定期総会においても同様の表彰がありました。

議員永年勤続20年以上特別表彰
中岡久徳 議員

議員永年勤続15年以上表彰
森岡昭二 議員

議員永年勤続10年以上表彰
田山宏弥 議員

なお、第91回全国市議会議長会定期総会において田山宏弥議員が全国市議会議長会評議員として会務に尽力されたことに対して、感謝状が贈呈されました。

ここが聞きたい



市政を問う

一般質問

一般質問は、6月5日、8日、11日の3日間で、13人の議員が市の諸問題についての質問をしました。

岩田 佐俊 議員



質問項目

- 高齢者の居場所づくりと介護予防
- AED
- 防犯対策

問 介護予防と高齢者の居場所作りの必要性

団塊の世代が75歳となる10年後は、医療・介護難民が出ると予測されています。元気な高齢者を目指すべき行政の施策は。そして、このような方々が集う場として地区集議所の有効利用が考えられますが、施設を利用するためには、バリアフリー改修をしなければなりません。

しかし、バリアフリー改修等のための市の補助金が少なく、申請を出してもなかなか補助金がもらえないと聞いています。増額等の検討をしていただけませんか。

答 2025年を踏まえて介護予防への取り組みや居場所作りは重要です

伊賀市では10年後には75歳以上の方が1万6千2百人余りになると推計しています。介護サービス事業所に加えて「新総合事業」では地域の方々が、居場所作りや介護予防教室等を身近な所で行えるよう取り組んでいただく体制作りをしていきます。また、地区の集議所や公民館の改修工事等については、毎年要望が多く、現地調査をして緊急性を優先して実施しています。限られた伊賀市の予算ではありますが、要望内容を考慮して、予算確保に努めていきます。

田中 覚 議員



質問項目

- 地方創生元年表明と政治課題

問 本気になって、様々な政治課題に取り組みられますか

人口減少対策は、子育て環境、保育や医療費の減額だけでなく、特に必要なのは仕事を作ることです。安定した職場の確保が肝要です。

答 ホンマにやります

スピード感をもって取り組みます。安心して暮らせる、そして仕事があるということが大切です。職場や仕事を増やしていくことや、工業立地も推進していきます。

問 旧態依然の入札制度を変革すべきです

伊賀市が持っている仕事、例えば建設業に今までの入札制度を変革して雇用の確保に努めるべきです。

答 定住自立圏構想を基に指名範囲を参考にします

発注基準の見直しを検討します。また、社会保険の未加入業者を指名から除外しています。

問 PFI 検討の進捗状況は

社会保険加入社員数を指名のインセンティブ（動機付け）に置くべきです。また、PFI 検討の進捗状況は。

答 検討を進めています

浄化センターの設計に入ろうとしています。PFI は有効な手段として検討を進めています。
※PFIとは、公共施設の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。

本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

上田 宗久 議員



質問項目

- 指定管理者制度の検証・評価
- 南庁舎の活用とまちの賑わい創出
- 空き家対策と定住化促進
- マイナンバー制度

問 まち全体のグランドデザインを

図書館との複合施設として南庁舎を保存活用するという行政方針は、施設改修費用やレイアウト、賑わい創出の根拠等が未だ明らかではありません。また、南庁舎の耐震診断結果も第三者委員会の評価待ちです。なぜこの南庁舎を図書館等に保存活用とお考えですか。

答 地域づくりの核となる施設がふさわしい

市民のための地域づくりの核となる「知の拠点」。新しい形の図書館等は、市民のスペースとして活用します。詳細資料を提示するためには、調査のための予算措置が必要であることもご理解いただきたい。

問 空き家対策と定住化促進

「特定空き家」に認定されるまでに、住める空き家を活用する定住化策を効果的に促進するための計画についてお伺いします。

答 計画策定の流れの中で取り組んでいきます

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づいた空き家等対策計画を策定する中で、移住交流施策に繋がる空き家の活用についても検討したいと考えています。

福田 香織 議員



質問項目

- 南庁舎の活用とまちなかの賑わい創出
- 「地域おこし協力隊」

問 南庁舎の保存

市長は、南庁舎をどうしても残すのでしょうか。

答 残します

これまでも申し上げてきましたが、残します。

問 「伊賀上野観光協会」「芭蕉翁顕彰会」「上野商工会議所」の意見についてどう思いますか

市議会の庁舎整備特別委員会が3団体と意見交換会をしました。何れの団体の方々も、それぞれの立場で、将来の伊賀市のことを、長年にわたって真剣に考えて来られたであろうと強く感じ、私自身も、多くの事を気づかせてもらいました。市長もこのような方々の意見に積極的に耳を傾けていただきたいと思います。ご感想は、

答 各団体さんの意見は、我々と違うことは言っていないと思います

問 地域おこし協力隊の活用を

都市地域から過疎地域に住民票を移動し、一定期間地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援等を行いながら、その地域への定住・定着を図るこの取り組みに対する伊賀市のアクションは。

答 取り組みが必要があります

移住支援の施策を事業として結び付けていくように、地方創生の視点からもこれから進めていく必要があると考えています。

百上 真奈 議員



質問項目

- 「海外で戦争する国づくり」と自治体・自治体労働者の関わりを問う
- 住民自治と住民自治協議会のあり方
- 市営住宅家賃の減免制度周知を

問 自衛官募集に関わって18歳市民の名簿提供は止めよ

伊賀市は以前から自衛隊法等による防衛相からの依頼によって、18歳になる市民の氏名・住所・生年月日・性別の4情報を自衛隊に提供していますが、この依頼は拒否することもできます。今、国会に提出されている新たな安全保障法案が成立すれば、海外での自衛隊の活動地域も武器使用権限も拡大し、自衛隊員が「人を殺し、殺される」危険性が増すことは明らかです。今後、自衛官募集事務は伊賀市の青年を戦地に送り出す事務へと変わることになる可能性があります。名簿提供は止めるべきです。また、18歳の市民から名簿提供を拒む申し出があればどうしますか。

答 今後も名簿提供を続けます

平成26年度の提供人数は932人で、住民課で作成した名簿を総務課内で職員立会いのもとで書き写すという方法により提供しています。

なお、18歳の市民から情報提供を拒む申し出が書面であれば、提供はしません。

一般質問

田山 宏弥 議員



質問項目

- 観光施策にかかる伊賀市からの観光情報発信と伊賀市の受け皿づくりの対応
- 合併特例債に対応する公共施設計画の今後の考え方
- 更生保護の取り組み

問 観光施策にかかる伊賀市からの発信と受け皿づくり

伊賀市から情報を発信していく事は大変重要な事であり、これからも折にふれ積極的な取り組みが必要であると考えます。

また、伊賀市へお越しいただいた方に対するおもてなしがまだまだ不十分だと思います。伊賀市をもっと好きになってもらい、少しでも長い時間滞在してもらったための取り組みが、計画的に、なおかつ速やかに行われるべきだと思います。今後の対応についてどのようにお考えですか。

答 市民の皆さんと協働して取り組みます

関係する機関や地域の一人ひとりが自分のできる事を認識し、おもてなしの気持ちをもつてつないでいく。つないで大きな力にしていく事が大切です。今後、情報発信を含めて関係する皆さんと手をつないで進めていきたいと考えています。

生中 正嗣 議員



質問項目

- 行政機構の変更と勤務延長
- 民生委員・児童委員の協力員制度

問 勤務延長措置は職員の士気の低下に繋がりませんか

定年予定者に対して勤務延長をすることは、定年制度を覆し、職員の士気の低下に繋がりませんか。

答 市政執行に必要であると判断しました

医療・地域福祉連携プロジェクトの成果を2年という限られた時間の中で出す必要があります。伊賀市職員の定年等に関する条例に基づき緊急的に必要であると判断しました。

問 民生委員・児童委員を助ける（仮称）協力員制度の導入は

高齢化や核家族化が進み民生委員の役割と期待が高まる中、業務の軽減と後継者の育成を目的として協力員制度の導入を検討してはいかがですか。

答 必要と考えるが、まずは仕組み作りに取り組みたい

まず、地域の取り組みとして、「地域ケア会議」「地域ネットワーク」の中で、自助・互助・共助の見守り、支えあい、助け合いを進めていただく中で、地域の中からそのような気運が高まってきましたら、地域包括ケアシステムと併せて、民生委員さんの負担軽減のしくみについて検討していきたいと考えています。

市川 岳人 議員



質問項目

- からだそだて事業
- 残土条例

問 からだそだて事業の教育面における意義は

答 授業への集中力や持続力のために必要です

体幹が備わらず基礎体力が低い小学校低学年の児童が授業に集中できない事例は増えています。姿勢を保持し集中力・持続力をつけるため、からだづくりをしていくことが学力を向上させるために必要です。

問 残土搬入時における廃棄物混入問題への対応は

「伊賀市残土条例」早期制定を求めらる500名超の署名が提出される中、請願採択から1年が経過しました。

一方、市民への啓蒙活動は未だ不十分であり、市としての積極的な取り組みが見えません。今後どのように対応していきますか。

答 市の重要課題として取り組んでいきます

伊賀市の重要な課題として認識しており、請願・署名は重く受け止めています。問題発覚までの初動体制が不十分であった点、請願採択後の市民啓発が不足していた点について反省しています。再発防止に向けて、県・市が縦割りでなく協力して取り組むことが重要です。市民啓発を行う中で環境保全への関心を促すとともに、条例化を含めてしっかりと対応できる体制を整えていきます。

一般質問

森川 徹 議員



質問項目

- 不登校児童・生徒への取り組み
- 教育現場における国旗・国歌の取り扱い

問 不登校児童・生徒への対応は

不登校児童・生徒に対する取り組みとして、退職された先生方に家庭教師のような感じで、不登校児童や生徒に接していただいたり、授業の様子を録画し、リアルタイムで各家庭や特別教室のパソコンに映し出したりして特別授業を行う方法を取り入れ、学力の維持を図ってはどうですか。

答 ひとつの提案として考えていきたい

保健室や相談室など別室で学力をつける、また学校に来られない児童・生徒に対しては家庭訪問や休業中を利用し、学力を保障しています。また、学力の基盤となる自分を見つめ直して、自分の良さや自分の力を見出していくことによって、その子の意欲が増し、学力が伸びることもありますので、それを我々は大切にしていきたいと思えます。学力については一人一人に応じた方法で保障していきたいと考えています。2つの提案に関しては、今は現実的に、可能かどうかわかりませんが、提案として考えていきます。

赤堀 久実 議員



質問項目

- 伊賀市高齢者輝きプラン
- 福祉医療費の窓口無料化
- インターネット利用料
- ランシー・情報マナーの取り組み

問 福祉医療費の窓口無料化の実施を

福祉医療費の窓口での無料化が進まないのは、30年前に創設された古い制度（国が乳幼児助成等の地方単独事業に対して国庫負担金や普通調整交付金の減額調整措置が行われているという制度）が原因の一つになっているからだと考えます。他市では市単独事業で、窓口無料化を実施しているところがありますが、伊賀市は、どうすれば無料化が実施できますか。

答 県の動向を見て段階的に進めます

県の福祉医療費助成制度改革検討会では、市の半数が窓口無料化等をすべき、また、この制度を県で統一して実施することが望ましいという声が多く出ている状況です。伊賀市としては、今後の少子化や人口減少を見据えて、第3子以降の保育料無料化や中学校卒業までの入院・通院の無料化を実施しますが、窓口での無料化につきましては段階的に実施していきたいと考えています。これからも、他の市町と歩調を合わせて、県に対し、意見を出しながら進めていきます。

安本 美栄子 議員



質問項目

- 行財政改革と行政機構
- 地方創生の市の取り組み

問 なぜ今、上野支所設置なのか

本年4月、ふれあいプラザに上野支所が設置されました。これまでの議論では「本庁の移転後、住民の利便性を考慮して上野支所設置が望ましい」と議員全員協議会でも論じられたところです。1課の上野支所、本庁の企画振興部次長と兼務の支所長、さらに本庁の「地域づくり推進課」と支所の「振興課」は住民自治協議会への支援とされていますが、全くの重複、二重行政であると思われ、何のための設置なのか、お示しく下さい。

答 上野エリアに横のつながりが必要

地域ごとに見たときに、上野エリアは本庁扱いになっていましたが、機能が弱くなっています。住民自治協議会の会長と話し合いをした中で、支援を求められています。大半の業務は「地域づくり推進課」で積極的に進めています。



一般質問

福岡 正康 議員



質問項目

●安全安心日本一住み
よい「まち」をめざ
して
まち・ひと・しごと
の創生

問 地区振興計画と地区振興予算の目的と位置づけは

地区振興計画を支所単位で計画していますが、伊賀市のいろいろな計画との整合を考えた場合、上野支所のエリアが広すぎるのではないですか。ハイピア等新設された公共施設は上野支所のエリアばかりになってしまいます。そして、地区振興計画を基本に支所単位に交付する地区振興予算の算出は、現在の祭りやイベントの予算の総枠を支所単位のそれらの比率で再配分しています。この算出に矛盾があり、また、地区予算（ソフト）と公共施設（ハード）のエリアも一致していませんが、おかしいのではないですか。

過去の答弁で地区振興は、支所にしっかりとした人間を配置し、権限の移譲・財布も渡すことが大事と言われましたが、現在考え方が変わってきているのではありませんか。

答 少しでも変わっていません

支所に対する考え方は、伊賀市周辺部への支援についての考え方は、ぶれていません。

中谷 一彦 議員



質問項目

●地区市民センターの
証明書発行業務と職
員体制
●耐震性のない公共施
設への対応
●定住自立圏構想
●地域コミュニケーションバ
スの補助金要綱

問 耐震性の劣る公営住宅の安全性確保は耐震性の劣る公営住宅に居住している方々の安全性の確保確保など市の対応状況はいかがですか。

答 空家、民間賃貸住宅の借上げ募集も検討します

補強や建て替えだけでなく、空家活用や民間賃貸住宅の借上げ募集など費用対効果も検証して部長が率先して検討を進めます。

問 地域運行バスに対する支援制度は地域交通システム導入にあたり、支援制度の内容と進捗状況は。

答 地域公共交通再生協議会の地域部会を7月に

名張市は地域住民で構成された運行協議会に対し、1運行協議会あたり300万円の運営費補助を行っています。地域運行バスに対する支援制度の導入については、本年7月に開催予定の地域部会などの意見を踏まえ、制度化に向けて考えていきます。

問 定住自立圏構想はいつまでに行うか

答 27年度中に

中心市宣言を行い、他府県を含めた協定書を締結します。

本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

◎議会を傍聴してみませんか◎



～議会の会議は、どなたでも傍聴できます～

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の3日前までに市議会事務局に申し出てください。（対象となる会議・・・一般質問）
- 議場傍聴席に「磁気誘導ループ」を設置しています。

※本会議等の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。（再放送は午後7時から）

※本会議、各常任委員会は市役所2階の市議会議場又は2階の市議会第1委員会室で開催します。

「nanonin」(ナノニン) 商品開発に協力

あけぼの学園高等学校 美容服飾系列「ビューティクリエイト部」へ

—— ボトルのデザインもされていましたね。「nanonin」(ナノニン)でしたね。

「パッケージは、かわいさと高級感がテーマです」

鴨田教諭：生徒の提案で「菜の花」と「忍者」を合わせたネーミングです。菜の花の収穫作業に参加し、商品だけでなく、原材料とふれあひながら作っていきます。製造工場での体験や販売のための営業も行います。

—— 菜種の状態から関わっていくと、愛着もわいてくるでしょうね。その他にはどのような実習をされていますか？

鴨田教諭：美容室でお客様をお迎えする時のあいさつの練習や立つ練習です。意外と大変なのが、長時間立つということです。

—— 今日、さわやかなあいさつで迎えていただきました。他には何かありますか？

「空気を読む」

鴨田教諭：一番重要なことは、「空気を読む」ということです。お客様の様子を見て、例えば雑誌をお渡ししたり、何か言いたそうであれば声をかける等の気配りがとても大切です。

—— 「空気を読む」。どの世界でも求められることですね。生徒さんたちは、商品の製造、販売、美容室での接客対応など全ての経験を積むことができるのですね。その中で、自分がどの部分に関わってみたいのかを考える事ができるのですね。

「将来の仕事の選択肢を広げる」

鴨田教諭：その通りです。全ての生徒が美容師になるという訳ではありません。さまざまな経験によって、「工場で製品作りをしてみよう」「製品の販売をしてみたい」というふうには選択肢も広がります。

—— 目標が明確になって、可能性が広がりますね。楽しみです。

鴨田公弘教諭が目指す今後の姿

—— 鴨田先生は、ご指導された卒業生にどのようなことを期待しますか？

「目指すは卒業と同時にプロ」

鴨田教諭：現在は、大半の卒業生が都会に出てさまざまな美容室で修行をしていますが、そんな生徒たちが経験を積み、視野を広げて地元に戻り、地域を担う人材として活躍してほしいと考えています。また、高校生美容室Akebono hairに帰って来て、後輩たちと一緒に頑張ってくれたら嬉しいなあと思っています。それから、現在は、卒業してから美容師免許を取るという形しかありませんが、高校で学びながら、卒業の時には美容師免許の取得ができるシステム作りをしたいと思っています。プロになるには、手先がやわらかい、早い方がいいですから。



実習中の2年生の生徒さんに直撃

—— かわいい、素敵なユニフォームですね。

・これは、先生がデザインをされたと聞いています。1年生の時、このユニフォームにあこがれて、早く着てみたいなあと思っていました。

—— この学校を選んだのはなぜですか。

・美容師になりたかった。人に喜んでもらえる美容師になりたいです。
・美容師にあこがれていましたが、この職業が自分にあっているのか確かめようと思って選びました。

—— 商品開発に協力すると決まった時は、どんな気持ちでしたか？

・初めてのことなのでワクワクしました。
・自分たちの意見を取り入れて作ってもらえるなんて、楽しみ。

—— まもなく商品が出来上がってくると思いますが、その後の計画はありますか。

・大型スーパー等へ商品を店頭においていただけるように営業体験を行ったり、実際にお客さんに商品を知っていただくために説明をします。
・製造工場へ体験に行きます。商品が作られる過程を自分の目で見てきます。

—— 9月に発売予定ですが、伊賀市の市民の皆さんにむけてのメッセージをお願いします。

・伊賀市の人たちをはじめ、たくさんの人に使ってもらいたいと思っています。
・ご愛用いただけるとうれしいです。



「nanonin」(ナノニン)

楽しみにしててください。

菜の花プロジェクト 始動中



市議会広報委員初インタビュー！



市議会だよりは、本会議で審議されたことや議会の活動について皆さんにわかりやすくお知らせすることを目的に年4回発行しています。市議会だよりをもっと身近に感じていただきたいという思いから、市民の皆さんが登場するページを作りたいと考えました。そして、6月23日、市議会広報委員がインタビューにおじゃましました。

あけぼの学園高等学校ってこんな学校

市川泰弘教頭に
お聞きしました

平成10年4月1日、全日制課程総合学科（定員80名）を設置
教育目標は「自分を大事に、自信をもって、自分の明日をつくろう」
校訓は「強く 明るく 真心で」 自由な校風の中で自主自立の精神を培う。
・伊賀上野NINJAフェスタのボランティアに生徒会役員が応募し「じゃんけん忍者隊」に
・柘植地域まちづくり協議会のメンバーと地域の田畑等や校内の一角で黒豆栽培。収穫したものを実習で使用し、特産品創出を目指す。



総合学科だからできるこんなこと

1年次（自己発見）＋2年次（自己啓発）＋3年次（自己実現）
で夢を夢で終わらせないサポート体制

▶[3年間のカリキュラムはこんな感じ]

「美容服飾」「情報教養」「製菓調理」「健康福祉」の4つの系列があり、1年次は全員が同じカリキュラム。2・3年次は、共通の科目以外に、この4つの系列に分かれたカリキュラムとなりますが、実際勉強してみて、自分には他の分野があっているのかなと思ったら、系列内だけでなく、系列を飛び越えて学ぶことも出来ます。



美容担当の鴨田公弘教諭が語る「開発にける熱い思い」

なぜ、シャンプーとトリートメントに菜種油を使おうと思ったのですか？

「チャンスが来たー(笑)」と思った

鴨田教諭：天然成分100%のシャンプーを作りたいと思った。しかし、天然成分の割合が高ければ高いほど、泡立たない。また、独特の匂いがして、現在の市場では売れないという事がわかり、それならば、天然成分90%を目指そうと決め、残りの10%で泡立ちと香りをつけようと思いました。



先生は、美容師の免許もお持ちだとお伺いしました。なぜこのタイミングだと思ったのですか？

「誰も使っていない菜種油。今こそ菜種油の出番だ」と思った

鴨田教諭：実は、3年ほど前から菜種油を使ったシャンプーとトリートメントの開発について考えていました。ただ、考え始めた頃は、ノンシリコンシャンプーの時代。

「今じゃない」と思って、時機を待っていました。シリコンを入れないと髪がきしむので、天然のシリコンといわれているオイルを入れようと考えました。

やっときた菜種油の出番ですが、商品開発や販売のために必要な条件について教えてください。

鴨田教諭：菜種油の土台となる菜の花を作ることです。伊賀市の菜の花プロジェクトで、大山田農林業公社さんが菜種から菜種油を製造しています。今後、販売をするにあたり、地元産の菜種油の在庫確保が重要です。

【※菜の花プロジェクト・・・栽培→菜種油搾取→食用油等として販売→流通→回収→再処理→燃料として使用する資源循環のしくみ】

菜種油がなければ作れませんね。伊賀市も菜の花プロジェクトに力を入れていますが、平成19年度の菜の花の栽培面積は10.2ha、25年度は57.3haと当初より増えています。伊賀市全域でこの取り組みを拡大しないといけませんね。では、実際に生徒さんは、どのような開発協力を行うのですか？

「シャンプーは泡だちがポイント」

鴨田教諭：まず、商品開発の仕組みをお話します。メーカーさんと生徒が協力して開発した商品は、OEM（相手先ブランドによる受注生産）で、伊賀市に拠点がある化粧品メーカーが製造します。

9月に一般向け、10月にプロ向けの商品を発売する予定です。

生徒達は、美容メーカーさんが作った試作品を使った感想を伝え、それを商品開発に反映させていきます。具体的には、シャンプーの粘性、泡立ち、シャンプーをすすいでみてどのくらいで頭皮から泡がとれるか、香り等を、授業の中でテストしたり、自宅で家族の方のご協力も得ながらテストしています。

**26年度支出された
政務活動費を
報告します**

■ 交付の趣旨

政務活動費は、地方自治法の定めにより条例に基づいて、議員が行う調査研究その他の活動のために必要な経費の一部として交付されたものです。これらの活動を通じて、議員の政策立案能力が向上し、議会の活性化に繋がることを目的としています。

■ 交付対象と額

請求のあった議員に月額2万円を、4・10月にそれぞれ半年分一括して交付されます。

■ 報告

議員は、定められた使途基準に従って、領収書等の証拠書類を添付し、収支報告書を議長に提出します。

■ 返還

交付額を全て使わなかった場合は、残額を返還します。

議 員	支給額 (円)	支出額 (円)	残 額 (円)	調査研究費 (視察等の 調査研究に 関する経費)	研 修 費 (研修会等 に参加する 経費)	広 報 費 (活動を住 民へ報告す るための経 費)	資料作成費 (資料を作 成する経費)	資料購入費 (図書や資 料等を購入 する経費)	事務所費 (事務所の 管理、備品 購入に要す る経費)
赤堀 久実	240,000	174,009	65,991	10,600	141,100	0	6,973	15,336	0
市川 岳人	240,000	258,069	0	65,390	162,412	0		30,267	0
嶋岡 壯吉	240,000	290,847	0	17,322	193,770	0	0	64,755	15,000
田中 覚	240,000	405,339	0	350,430	0	0	8,596	0	46,313
福岡 正康	240,000	197,648	42,352	110,430	0	65,000	22,218	0	0
福田 香織	240,000	70,739	169,261	37,010	8,040	0	22,017	3,672	0
森川 徹	240,000	240,484	0	222,550	0	16,300	0	1,634	0
生中 正嗣	240,000	113,096	126,904	37,010	37,800	0	23,990	14,296	0
稲森 稔尚	240,000	236,010	3,990	167,370	37,612	0	13,465	17,563	0
上田 宗久	240,000	217,418	22,582	180,482	0	0	36,936	0	0
近森 正利	240,000	153,081	86,919	10,600	104,240	0	22,830	15,411	0
中井 洸一	240,000	160,600	79,400	89,580	0	0	24,823	46,197	0
中谷 一彦	240,000	215,690	24,310	10,600	144,290	0	50,309	10,491	0
百上 真奈	240,000	196,922	43,078	78,612	92,800	0	0	25,510	0
木津 直樹	180,000	222,550	0	222,550	0	0	0	0	0
田山 宏弥	240,000	254,950	0	222,550	0	0	0	32,400	0
森 正敏	240,000	242,150	0	110,430	80,260	0	0	9,864	41,596
北出 忠良	240,000	243,070	0	222,550	0	0	20,520	0	0
空森 栄幸	240,000	254,026	0	222,550	0	0	0	31,476	0
前田 孝也	240,000	245,142	0	110,430	114,060	0	16,764	0	3,888
岩田 佐俊	240,000	222,550	17,450	222,550	0	0	0	0	0
安本美栄子	240,000	269,486	0	17,322	206,980	0	29,118	0	16,066
森岡 昭二	240,000	155,568	84,432	110,430	44,760	0	378	0	0
合 計	5,460,000	5,806,113	766,669	2,849,348	1,368,124	81,300	298,937	318,872	122,863

※ 中岡久徳議員は、交付申請がないため掲載していません。



- 奥の細道むすびの地記念館
- 歴史的風致維持向上計画
- 中心市街地活性化
- バイオマス事業の取り組み
- 議場におけるブレットの使用方法
- 商店街再生事業
- 定住促進施策
- 再生エネルギー普及促進
- 地域密着共生福祉特区、自殺対策
- 中央図書館リニューアル
- 空き家バンクと人口減少対策
- ジェネリック医薬品使用促進

調査研究のための視察の主なテーマ

市議会だよりアンケートの集計結果

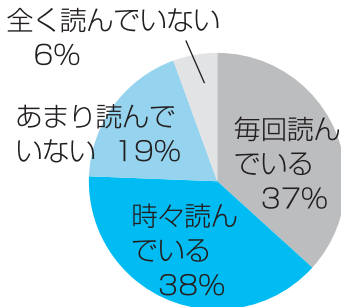
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

市民の皆様のご意見を参考に、より親しんでいただける内容にするため、住民自治協議会様のご協力のもと、アンケートを実施し、324人の方からご回答をいただきました。

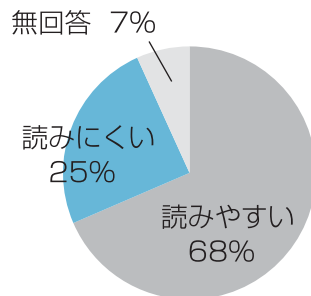
このたび、アンケート集計結果をまとめましたので、その概要をお知らせします。お寄せいただいた貴重なご意見を、市議会だよりの作成や議会運営に生かしていきます。今後もご愛読をよろしくお願いたします。

- ◎実施機関：平成27年1月16日～2月16日
- ◎件数：324件
- ◎性別：男74%、女25%、無回答1%
- ◎年齢：30歳未満6%、30～40歳代20%、50～60歳代55%、70歳以上18%、無回答1%

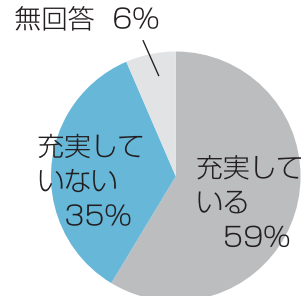
市議会だよりを読んでいますか



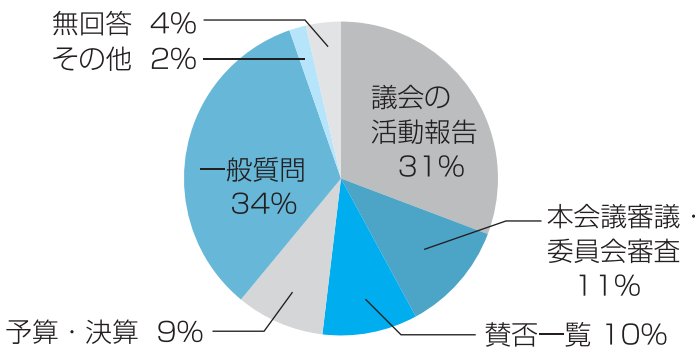
読みやすいですか



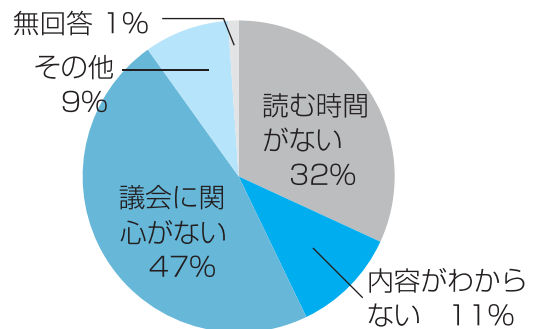
内容は充実していますか



関心のある記事は何ですか



読まない理由は何ですか



読んでみたい記事は何ですか

- ☆市民と議会のつながりがわかる記事を載せてほしい。(身近な問題・地域のこと)..... 15人
- ☆議員が普段どのような活動をしているのか知りたい。..... 7人

[その他の意見]

- ☆政務活動費の使われ方と成果が知りたい。
- ☆議会から市政に対してどのような提案があったのか知りたい。
- ☆今後の展望や伊賀市の未来について知りたい。
- ☆農村の活性化についての取り組みを知りたい。
- ☆視察だけでなく研修会の参加報告も知らせてほしい。
- ☆各委員会の審議内容や活動報告を詳しく知りたい。
- ☆議会報告会の結果を載せてほしい。
- ☆視聴者の声や議員のコラム等の記事があれば読むきっかけになるのではないかと。
- ☆問題となっている事柄等の特集をしてはどうか。

ご意見・ご要望

- ☆改めて読むと内容は充実している。わかりやすい。..... 5人
 - ☆わかりやすい言葉で書いてほしい。... 5人
- ### [その他の意見]
- ☆図やイラストを用いると読みやすい。
 - ☆一般質問や質疑の内容を詳細にしてほしい。
 - ☆議会に対して市民の声のようなページがあればいいと思う。
 - ☆レイアウトについて、工夫した方がいいのではないかと。(委員会審査・審議のページを縦に流す組み方や全体を横書きにする等)
 - ☆写真を多く掲載してほしい。
 - ☆各地域の問題やその解決状況について知りたい。
 - ☆会派の活動について知りたい。

議会報告会を開催(10月)

みなさんの声を
聴かせてください

昨年度に引き続き、市民の皆さんと情報や意見交換を目的とした報告会を行います。ここでいただいたご意見等は議長に報告し、市行政に対する提言等で重要なものは市長に報告しています。

また、各地区で開催された報告会の内容は市議会ホームページに掲載しています。

どなたでもご参加いただけますのでぜひ会場にお越しください。



班	議員名(◎班長)	地区名	開催日	時間	場 所
1	◎中谷、赤堀、森川、空森	久米	10月9日(金)	19:00	久米地区市民センター
2	◎市川、生中、百上、前田	高尾	10月16日(金)	19:00	岳の里会館
3	◎岩田、嶋岡、ほか2名	矢持	10月5日(月)	19:00	矢持地区市民センター
3	◎岩田、嶋岡、ほか2名	布引	10月16日(金)	19:30	布引地区市民センター
4	◎上田、田中、田山、安本	桐ヶ丘	10月20日(火)	19:30	桐ヶ丘地区市民センター
6	◎森岡、福田、中井、北出	柘植	10月14日(水)	19:30	柘植地区市民センター
6	◎森岡、福田、中井、北出	上津	10月15日(木)	19:30	上津地区市民センター

※出席議員が変更する場合がありますので、ご了承ください。なお、5班は10月の議会報告会の開催予定がありません。

平成27年9月定例会日程(予定)

8月31日(月) 本会議(開 会)
9月

- 4日(金) 本会議(一般質問)
- 7日(月) 本会議(一般質問)
- 9日(水) 本会議(一般質問)
- 10日(木) 本会議(一般質問)
- 11日(金) 決算常任委員会
- 14日(月) 決算常任委員会
- 15日(火) 予算常任委員会
- 16日(水) 予算・決算を除く各常任委員会
- 17日(木) 予算・決算を除く各常任委員会
- 25日(金) 本会議(閉会)

※本会議と予算・決算常任委員会は10時から始まります。その他の各常任委員会の開催時間は、議事事務局へお問い合わせください。

※定例会の日程は、変更になる場合があります。



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

この度、「身近な事を載せてほしい」というアンケートの声に背中を押していただき、「あけぼの学園高等学校直撃インタビュー」に挑戦。夢に向かってひたむきに励む高校生たちに出会い、伊賀市の明るい未来を感じました。これからも紙面が許す限り、多彩な市民の方に登場していただこうと思います。乞うご期待。(百上)

【広報委員会】

〈委員長〉百上真奈 〈副委員長〉福田香織

〈委員〉赤堀久実 市川岳人 嶋岡壮吉 福岡正康 森正敏

☆伊賀市の議員を紹介します

任期:H25.4.1~H29.3.31

名前	住所 電話	名前	住所 電話
赤堀久実	希望ヶ丘 51-4810	中井洸一	丸柱 44-1026
生中正嗣	岩倉 21-5748	中岡久徳	市部 37-0105
市川岳人	島ヶ原 090-8130-4012	中谷一彦	桐ヶ丘 52-2207
岩田佐俊	印代 23-3241	福岡正康	中馬野 080-9490-7294
上田宗久	大野木 21-0715	福田香織	諏訪 24-4003
北出忠良	川東 45-3350	前田孝也	猪田 21-7565
嶋岡壮吉	阿保 52-0660	百上真奈	長田 24-2850
空森栄幸	菖蒲池 39-0036	森 正敏	阿保 52-0629
田中 覚	緑ヶ丘南町 24-6661	森岡昭二	柘植町 45-3561
田山宏弥	上野忍町 21-0879	森川 徹	阿山ハイツ 090-3950-8873
近森正利	東高倉 23-8567	安本美栄子	緑ヶ丘南町 23-0312

●ご意見をお寄せください● よろしく願います

☆市議会では本会議の情報発信(ケーブルテレビ等)の方法について検討しています。次の3つの項目について、郵送、EメールまたはFAXでご意見やご感想をお寄せください。

質問① 議会のテレビ放送をご覧になった感想

質問② インターネット配信がされたらご覧になりますか。

質問③ 42号をお読みになつての感想

郵送 〒518-8501「伊賀市議会 議会だより感想」宛

E-mail gikai@city.iga.lg.jp FAX 0595-24-7901

次号は11月1日です。

発行：伊賀市議会

編集：伊賀市議会広報委員会

TEL 0595-22-9687

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>